

第5学年道徳学習指導案

日 時 平成21年11月20日(金) 1校時
対 象 5年生(男7名女13名計20名)
指導者 黒瀬 敬

- 1 主題名 美しい心にふれて(敬虔 3-(3))
- 2 資料名 ケヤキの木の下で(出典 東京書籍「希望をもって」5年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章道徳の目標及び内容の第5学年及び第6学年の内容の3「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」の(3)は「美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。」となっている。この内容項目は、第1学年及び第2学年の内容の3の(3)「美しいものにふれ、すがすがしい心をもつ。」と第3学年及び4学年の内容の3の(3)「美しいものや気高いものに感動する心をもつ。」を受けた内容であり、中学校の内容の3の(2)「自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。」に発展していく内容である。この内容項目は人間の心の崇高さや偉大さ、人間の業を超えたもの、大自然の摂理などに素直に感動し、それらに畏敬の念を抱かせることをねらいとしている。

「敬虔」という価値の本質は、人に内在する心の優しさや美しさ、気高さ、自然のもつ神秘さ、生命の連続性などあらゆる道徳的価値を土台に持ち、それらを超越したところにある。つまり敬虔とは、あらゆる道徳的価値を包括し、発展させていくものである。人が素直に感動し、心揺さぶられるのは、様々な価値を網羅し超越したものに圧倒されるからである。

人は本来、美しいものや気高いもの、崇高な人の心などに、素直に感動する心を持っている。自然界における自分の存在自体、神秘的であり感動すら覚えるものである。しかし近年、各メディアが発信する情報量が膨大になったり、各家庭が持つ価値観の多様化などが原因で、子どもたちが純粋で美しいものから遠のいていくように思われる。

この期の児童は知識が増えると同時に、感性も豊かになってくる。しかし美しいものに触れなければ、人が美しいと感じる感覚は育たない。同様に純粋なものに触れてこそ純粋な心は育つ。この感性が研ぎ澄まされていく時期に、人が人を動かす心の美しさに触れることは意義深いと考える。

(2) 児童について

省略

(3) 資料について

本資料は200年もの間、町を見つめてきたケヤキの木が切られることになり、そのケヤキの木がある家のおばあさんがケヤキの木に深い思いを寄せるという話である。おじいさんが亡くなり、ケヤキの木をずっと守ってきたおばあさんだったが、引越しを機にこの木の命を残したいと考える。各地に引き取られたケヤキはおもちゃやベンチになったり、そしてついには、新しい芽を出す。木の成長とともにある家族の歴史、夫婦の愛情、命の営み、そこにはおばあさんの人生が感じられる。本資料は人の心の持つ、豊かな感情や人の美しい行為の素晴らしさをじっくりと味わえる資料といえる。

(4) 指導の態度

今年度、「敬虔」の価値に触れるのは2時間目である。前時においては、「本当の美しさとは」という観点で話し合いを深めた。この時間において子供たちは、美しいものとは、目に見えるものばかりではないということに気付いた。また、人が美しさを感じる時は「心が動く」ことを認識し、それは感動だ、ということをつかえた。本時はこの時間を受けての展開となる。

感動的な資料を扱うので授業中にBGMを流したり、写真を活用するなど視聴覚効果もねらいたい。「気付く」段階では、校地内の自分のお気に入りの木について語ることで資料への導入を図る。「深める」の段階では、おばあさんが木の命を残したいと考える思いについてじっくりと浸らせる。「つかむ」段階ではケヤキの木に対して、言葉につまるおばあさんの気持ちを推察することによって価値把握につなげるようにする。「広げる」では今日の資料に対する感想やそれぞれの子どもが感じたことをねむの木ノートに書かせ、交流させることにより価値をより深いものとし、「感動の共有」という時間を目指したい。「まとめる」段階では映像資料を活用し、余韻を持って終わりたい。

4 全教育活動における本時の位置づけ 5年 3の(3) 敬虔

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校 / 学年行事	始業式 入学式 1年生を迎える会	交通安全教室 児童総会 運動会	縦割り遊び 誕生集会 参観日	終業式	始業式 学校参観日	児童総会	感謝集会 参観日 マラソン大会	連合音楽会 学校公開 誕生集会	終業式	始業式 誕生集会 学校参観日	スキー教室 参観日	六送会 卒業式 修了式
各教科	国語 (読書の世界を広げよう) ・感動的な物語に数多く接することで文学の持つ豊かな世界に親しませる。		理科 (生命のたんじょう) ・人や動物の生命の誕生やその営みに触れ、動植物の神秘的な姿から感動する心を養う。		社会 (日本の国土) ・日本の豊かな国土の様子から自分たちが生活している自然環境のすばらしさに気付かせるようにする。		音楽 (アジアの音楽に親しもう) ・クラシック音楽を中心に各国の民族音楽や日本独自の父子などに数多く触れ、音楽の持つ芸術性を感じるようにする。		図工 (イメージをひろげよう) ・数々の美術作品 (絵画・彫刻・ポスターなど) に多く触れることにより豊かな感受性を育てる。			
道徳の時間	指導要領の内容3-(3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。		第1時 (8月) 資料名 美しいお面 (学研) ねらい 本当の美しさとは何か考え、清らかなもの、人の情愛の素晴らしさに感動する心を育てる。 反省		第2時 (11月) 資料名 ケヤキの木の下で ねらい 人間のやさしい心や美しい行為に気づき、素直に感動する心を育てる。 反省		敬 虔					
総合学的習 の時間	マーチングを成功させよう ・金管バンドでの練習を積み重ね、演技が終わったときの感動を味わう。		自然に学ぼう ・区界の樹木などを観察し、自然のよさを感じ取り、日本国土全体の環境のすばらしさを知る。		耳をすまそう地球の声に ・地球環境を考えると、様々な自然の営みの神秘さに触れ、感動する心を養う。							
特活・行事・日常生活	1年生を迎える会 ・1年生を向かえ、自分が入学したときのことを思い出し、人の成長を感じる。	運動会 ・自分の係活動や演技を終えた時に協力する喜びや達成感を味わう。	陸上記録会・水泳記録会・球技大会 ・各種大会に取り組みで仲間との絆を深め、大会が終わったときにことをなし終えた思いや人の持つ力強さや美しさを感じる。		区界教室 ・岩手の豊かな大自然に囲まれ、巨木などの姿から自然の美しさにや生き続けるもの、人間の力を超えたものを感じる。		卒業式 ・6年生が卒業していく姿から、親子の情や愛校心、巣立ちのすばらしさを感じる。					

5 本時の指導

(1) ねらい

人間のやさしい心や美しい行為に気付き、素直に感動する心情を育てる。

(2) 展開の概要

	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	指導上の留意点 (◆仮説にかかわる手立て)
気づく 2分	1 校庭のお気に入りの木について話し合う。 ○河北小学校の校庭のお気に入りの木についてお話ししてください。	・私は桜の木が好きです。この木の下にしていると優しい気持ちになるからです。	◆事前に委員会活動の取り組みを調べ、そのことをねむの木ノートに記述させておき、交流する。 ・その子なりの木に対する思いを拾い上げ、主人公の思いにつなげる。
深める	2 資料を読み、学習してみたい場面を発表しながら、学習課題を設定する。 ○資料を読んでどんな場面が心に残りましたか。	・おばあさんが看板を立てた場面。どうして立てたのか考えたい。	・長文ではあるが、資料文との出会いを大切にするために範読する。 ・BGMを流し、範読を始める。 ・子どもたちの学習したい場面の発表から学習課題を設定する。
つかむ 30分	3 「おばあさん」の気持ちを中心に考え話し合う。 ①ケヤキの木の命をどこかにとっておきたいと考えたのはおばあさんのどんな思いからでしょう。 ②「長い間、ご苦労さん……。」とつぶやいたときおばあさんはどんな思いでいたでしょう。 ③各地から届く便りを眼にした時、おばあさんはどんな気持ちになったでしょう。	・切られてもどこかで生きていて欲しい ・ケヤキの木がいろいろなことを語りかけているような気がした。 ・よかった。やっぱりケヤキの木の命はつながったなあ。 ・私の気持ちがみんなに届いて本当に幸せな気持ちだ。	・木の最後を見届けたいというおばあさんの心情にも触れる。 ◆ケヤキの木の存在をどこかにとっておきたいおばあさんの心情と自分の体験とを重ねて話させる。 ・「長い間、ご苦労さん。」に続く言葉を考えさせることにより、おばあさんの気持ちに共感させ、より深い感動へ導きたい。 ・おばあさんの満足感、安心した気持ちを捉えさせ、資料文のもつ温かさや、すがすがしさを感じ取らせる。
広げる 10分	4 今日の学習について感想を話し、交流する。 ○今日の学習で自分が心を打たれたことや考えたことを話し合ひましょう。	・おばあさんがとてもやさしくて感動した。 ・けやきの木が芽を出したり、みんなに愛されてとてもよかった。	◆ねむのきノートに書かせることにより、じっくりと自分の思いや資料文のよさに浸らせた。
まとめる 3分	5 映像資料を見る。		・今日の授業をふり返りながら、映像資料を見ることで、余韻を持って授業を終える。

「長い間、ご苦労さん……。」とつぶやいたときおばあさんはどんな思いでいたでしょう。

・切ってしまっでごめんなさいね。
・たくさんのお思い出をありがとう。
・これからも私達を見守ってね。
・この木のおかげで幸せだったなあ。

ケヤキの木の下で

「長い間、ご苦労さん。」とつぶやいたときおばあさんはどんな思いでいたでしょう。

家族の思い出の写真

ケヤキの木

おばあさんの顔

最後は見とど
けよう。

ケヤキが芽を出した
ところの絵

- ・この家を離れたくない。
- ・おじいさんの言葉を大切にしたい。

ケヤキの
切り株の絵

- ・たくさんの思い出をありがとう。
- ・これからも私たちを見守ってね。
- ・この木のおかげで幸せだったなあ。

人の優しい心の美しさ

7 資料分析

資料名 ケヤキの木の下で
(出典 東京書籍 希望をもって 5年)

ねらい 人間のやさしい心や美しい行為に気付き、素直に感動する心情を育てる。

